

阿川佐和子 講演会 Sawako Agawa

作家の父と私

2024年11月7日(木)

15時から16時30分まで

青葉公会堂 入場無料
【要事前申込】

区制30周年を記念して、青葉区にゆかりのある作家・阿川弘之氏の著作を集めたコーナーを山内図書館につくります。これにあわせて、弘之氏のご息女であり、テレビやラジオへのご出演、『聞く力』『話す力』(ともに文藝春秋)等の著書でも知られる阿川佐和子さんに「強父」と弘之氏の思い出を中心に、幅広くお話をうかがいます。

阿川 佐和子(あがわ さわこ)

1953年生まれ。エッセイスト、小説家。『ウメ子』で坪田譲治文学賞、『ああ言えばこう食う』(檀ふみとの共著)で講談社エッセイ賞、『婚約のあとで』で島清恋愛文学賞を受賞。「ビートたけしのTVタックル」「日曜マイチョイス」(テレビ朝日)、『鶴瓶ちゃんとサワコちゃん』(BS12)等のテレビ番組への出演やドラマ、CMでも活躍。



撮影：栢木 功

【応募方法】横浜市電子申請システムまたは山内図書館カウンターのいずれかで申し込んでください。

2024年9月20日(金) 9時30分から受付します。定員に達し次第、受付は終了します。

電子申請はこちらから(受付開始日以降、下記の二次元コードからリンクしています)



氏名・電話番号・メールアドレスなどの必須項目を入力の上、申し込んでください。

1申込みにつき1人まで受付できます。受付完了から1週間程度で連絡メールが届きます。

*保育はありません。*駐車場料金の減免はありません。公共交通機関をご利用ください。

*手話通訳が必要な方は、申込時に選択またはお申し出ください。

本事業において収集した個人情報は、本事業に関する事務手続きにのみ使用します。

青葉区在住・在勤・
在学の中・高生以上の方

先着 **550** 人

【お問合せ】横浜市山内図書館 読書活動推進事業担当 電話 045-901-1225 <https://yamauchi-lib.jp/>
〒225-0011横浜市青葉区あざみ野2-3-2 開館時間：9時30分から20時30分まで(土日月曜日と祝日は17時まで) 公式X:@yamauchi_lib

【主催】青葉区役所こども家庭支援課 横浜市山内図書館

阿川 弘之 あがわ ひろゆき

1920(大正9)年12月24日生まれ。広島県出身。1942(昭和17)年9月、海軍予備学生として海軍に入隊、士官として通信謀報の任につく。1946(昭和21)年に復員。1979(昭和54)年日本芸術院会員。1999(平成11)年文化勲章受章。

戦後、「小説の神様」と呼ばれた志賀直哉に師事。志賀最後の内弟子であり、師についての評伝『志賀直哉』で野間文芸賞と毎日出版文化賞を受賞した。また、『新版 志賀直哉全集』の編集をつとめた。

遠藤周作、安岡章太郎、吉行淳之介、三浦朱門らとともに「第三の新人」と呼ばれる世代で、1952(昭和27)年『春の城』で読売文学賞を受賞。海軍での体験をもとにした戦記文学、記録文学で知られ、代表作に、太平洋戦争時の3人の海軍大將を描いた『山本五十六』『米内光政』『井上成美』の提督三部作など。

美食や鉄道など趣味に基づいた著作も多く、食にまつわる自叙伝的な随筆集『食味風々録』、家族や親交があった遠藤や北杜夫、開高健らと外国の鉄道に乗った際の紀行文『南蛮阿房列車』などがある。雑誌「文藝春秋」では、巻頭随筆「葎の髄から(よしのずいから)」を13年間にわたって連載した。また、文を手がけた絵本『きかんしゃやえもん』は、1959(昭和34)年の刊行以来、現在まで長く読み継がれている。

2015(平成27)年8月3日、老衰のため都内の病院で逝去。94歳。青葉区には、1968(昭和43)年※から亡くなる2015年まで住んでいた。※1968年当時は港北区



10月16日(水)～11月12日(火) 山内図書館展示コーナーにて特別展示「阿川弘之の文学」を開催します

青葉区について

【面積】 35.06平方キロメートル(市内2番目の広さ)

東端:新石川四丁目20 西端:奈良町2842-2

南端:さつきが丘37 北端:美しが丘西二丁目31-2

【位置】 東経139度32分14秒 北緯35度33分09秒

【人口】 308,271人(2024年7月1日現在)

【世帯】 136,603世帯(2024年7月1日現在)

【区名の由来】

木々に囲まれた美しい街をイメージし、若い芽がいきいきと育つように、将来に向けてのびやかに発展する区でありたいとの願いをこめて、公募により決定されました。

【区のシンボル・マスコットなど】

区の木:ヤマザクラ(2004年11月制定)

区の花:ナシ(2004年11月制定)

マスコット:なしかちゃん(2009年4月12日制定)

【青葉区の沿革】(青葉区HP、「なるほどあおば2023」より抜粋)

1889年 4月 横浜市制施行

1939年 4月 都筑郡田奈村、中里村、山内村、中川村が横浜市港北区に編入

1965年 5月 「こどもの国」開園

1966年 4月 東急田園都市線(溝の口～長津田)開通

1967年 4月 こどもの国線開通

1969年10月 港北区から分区、緑区となる

1977年 4月 「山内図書館」「山内地区センター」開館

1993年 3月 横浜市営地下鉄(新横浜～あざみ野)開通

1994年11月 港北区と緑区を再編し、青葉区・都筑区を新設

1995年 4月 「青葉公会堂」「青葉スポーツセンター」開館

1998年 3月 東名高速道路、「横浜青葉インターチェンジ」開通

2000年 3月 こどもの国線通勤線化、同時に恩田駅開業

2007年 5月 青葉区の人口が30万人に到達

2008年 4月 青葉区の男性の平均寿命が全国1位(81.7歳)になる
女性は全国7位(88.0歳)

2020年 3月 横浜北西線開通

2024年11月 青葉区制30周年

阿川佐和子さんのサイン会を開催します

当日会場にて、阿川佐和子さんと阿川弘之さんの著書を販売します。
佐和子さんの著書を購入された方には、その場で佐和子さんがサインを入れてくださいます。

※著書販売コーナーでの支払方法は現金のみです。

【会場】 横浜市青葉公会堂

〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町31番地4

電車で…東急田園都市線「市が尾駅」下車徒歩10分

バスで…「青葉区総合庁舎」バス停下車すぐ

バスは、JR横浜線「中山駅」、小田急線「柿生駅」、東急田園都市線「青葉台駅」「市が尾駅」から利用できます。